

対応状況報告書

大 学 名：秋田県立大学

評価実施年度：令和 4 年度

報 告 年 度：令和 7 年度

対象となる基準	基準 5 - 3
改善を要する点	○システム科学技術研究科（博士後期課程）の実入学者数が定員を大幅に下回っている。
対応状況	<p>・令和 5 年度及び令和 6 年度入学者選抜（令和 4 年度及び令和 5 年度実施）では、定員 8 名に対していずれも入学者はゼロだったが、令和 7 年度入学者選抜（令和 6 年度実施）では、入学者 4 名、入学定員充足率は 50%と好転を見ている。しかし、直近 5 年度における平均の入学定員充足率は 33%に留まるため、現時点で本基準について改善された状況にあると判断していない。</p> <p>・改善に向けては、本研究科博士前期課程を修了し博士後期課程に入学した学生を特待生として優先的に選考する枠を設けることで進学後の修学支援策を講じたり、博士前期課程入学直後の学生を対象とするオリエンテーションで博士後期課程進学の特長やキャリアパスについて説明するなど在学生に対して進学を働きかけたりしている。加えて、社会人学生を確保するため、個人の事情に応じてフレキシブルに履修することができる長期履修学生制度や特別早期修了制度について本学ウェブサイト等で情報発信している。</p> <p>【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ システム科学技術研究科特待生選考実施要領 2025.4「大学院博士後期課程について」（大学院新入生オリエンテーション）</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「II 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。

4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。